TAKAYAMA

体協たかやま

第８号
平成11年12月15日
㈶高山市体育協会
広報委員会

強化委員会の取り組み

㈶高山市体育協会副理事長・
強化委員長
古橋 紘一郎

㈶高山市体育協会がその成果・目標としているのは、岐阜県都市体育大会での総合優勝・岐阜県民体育大会での総合三位。それにチャンピオンスポーツとしての優秀選手を如何にして育て創り出すか等、大変な課題を持っているが、私達の強化委員会はこうした目標達成のために存在していると言えます。

強化委員会としては、まず全種目団体が、現在どのような活動をすることによって、強いチームや選手を育てようとしているのか理解することから始めました。具体的には全種目団体の実情と内容を知るため、昨年約二ヶ月をかけて各団体理事長と強化委員との懇談会を開催しました。それにより各団体の強化への取り組み、若い選手の練習のし方などの良し悪しや、それぞれの種目の競技方法・試合内容からの競技種目がもつ固有の課題を明らかにするなどの研究交流もして来ました。

一方、高山市民の若い競技者を育てるため、小学生、中学生、高校生等のジュニア育成の推進を図って来ました。それにより新たにスポーツ少年団をつくった団体も出て来ました。また、高校生との試合交流等により選手強化に取り組んだ種目団体もあります。

私達のこうした取り組みは加盟団体全体に選化への目的意識が培われて来て、除々にその成果が出て来ています。都市体育大会で常勝の陸上やバレーボール。対戦相手によっては上位入賞可能な競技種目も増えています。同じ様に県民体育大会でも有望種目が増えて来ています。だから岐阜、大垣と対等に戦えば総合優勝や総合三位など決して夢ではありません。

今後も強化委員会としては各競技団体と選手強化、ジュニア育成の面で連携を図りながら、強いチーム、強い選手づくりの課題に取り組んで行きたいと考えます。

わが協会・わが仲間

少林寺拳法協会

私たち高山市少林寺拳法協会は、結成の昭和五十二年に体育協会加盟以来、多くの拳士を育てて来ました。その間いろいろな練習場を借りながら修行に打ちこんできました。

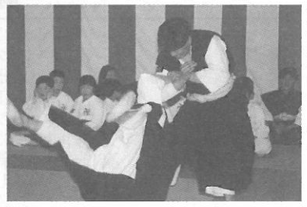
少林寺拳法は、自信と勇気と行動力を持ち、世の中の為に役にたつ人間を一人でも多く育てたいという願いをもって創設されました。護身練胆、精神修養、健康増進、この三徳を兼備した『行』なのです。

これまでに全国大会に三回出場、県大会最優秀賞一回、全国錬成大会最優秀賞一回、そのほか、仲間との楽しいふれあい・助け合いと、楽しい思い出もたくさんあります。

現在、拳士数、四十名余り、親子、年少部、一般といろいろな形で練習に専念しています。また、我々の団体に対し、理解して下さり、練習場所を提供していただき、年間通じて、休部することなく、続けてこれました。

これも少林寺拳法に賛同して下さった、拳士、父兄、OB、体育協会、その他多くの協力者のたまものと感謝しております。

今後、この良き仲間と、良き関係を持ちながら、自己確立、自他共楽を目指しながら、少林寺拳法協会がこの地域に、必要とされる武道団体として発展するように、努力していきたいと思います。



横口君(柔道)・日枝中女子ハンド 全国中学体育東海大会優勝

八月七日、柔道六五キロ級で横口大志君（東山3）が、また八月八日、日枝中女子ハンドが優勝、共に全国大会への出場を決めた。

全国準優勝横口君（東山中三年）

八月二十二日、福井市で開催された全国中学校体育大会の柔道六五キロ級で準優勝した。決勝へコマを進めたのは飛騨の中学生では初めてである。

ボウリング・ワールドカップ予選 山本正幸君（斐太農林一年） 最年少出場

八月二十八・二十九日に、名古屋市で開催され山本君は出場者百八十二人中、六十位の成績を収めた。また都竹直樹さん（添垣内町）は、二七九点のハイスコアで五十五位を記録した。

県体ボウリング高山総合優勝

八月二十九日、高山市で開催、九郡市のトーナメントで男子一位、女子二位で総合優勝を飾った。

全国定通制バドミントン大会にて 高山高四人の主力選手が二位

八月二十日、小田原市での大会に県代表メンバー五名の内の四名、沖野喬芳君、畦畑直也君、中井一志君（二年）、片倉正志君（四年）が出場、準優勝を飾った。

西ボーイズ県大会で優勝の快挙

十月三日、久々野町総合グランドで開催されたマクドナルド杯県大会で、高山市代表の西ボーイズが見事優勝した。

県高校新人剣道で西高校健闘

十一月十三日開催の県高校新人大会で、高山西高が見事準優勝した。

柔道形選手権で高山女子勢大活躍

十一月三日、岐阜市で行われた県柔道形選手権大会で中学女子の部で一、二位を独占する活躍だった。優勝＝山下実希、北村ちえ子（東山中二年）、二位＝溝脇晶子、斉藤真理子（中山中二年）。

尚、九月二十六日東京都で開かれた全日本柔道形選手権では、高山柔道スポーツ少年団指導員の黒田美千子さんが、準優勝に輝いた。

清水亘君（松中）日本選手権大会 “JOCの部”へ出場し大活躍

全日本選手権と同時開催されたJOC陸上で、清水君は、百米に出場、十一秒二十五の記録で四位に入賞した。

卓球の直井姉弟ら今年も全国大会へ

全日本卓球選手権大会県予選大会で△女子ホープスの部②直井さおり（新宮八）△男子カブの部③直井大地（新宮四）④南裕樹（山王三）

この三名は、姫路市で開催される全国大会へ昨年に続き出場する。

県高等学校新人陸上競技大会成績

△男子走高跳＝①河合俊明（斐太）△女子四百ｍ＝⑤池原口絵美（高山）△女子八百ｍ＝③富田江里子（斐太）△女子千五百ｍ＝①富田江里子（斐太）四分五四秒九十大会新記録

全飛中学校駅伝で高山勢優勝独占

男子①日枝△女子①中山中③東山中区賞男子＝和田将弘（中山）田川徹平（日枝）△女子＝水口侑子・金井万里子・中田奈津子（中山）・橋戸絵里（日枝）

栄光・快勝・健闘……の戦跡

市民体育大会陸上 総合は松倉校下

男子一般百ｍ①桑原忠彦（日枝）②田端浩之（日枝）△育成会五十ｍ①山下成彦②門正美（日枝）③浜島博人（日枝）④山下淳一（東山）⑤池田健一（松倉）△千五百ｍ①倉田大陸（松倉）②桑山和久（東山）③加納糾行（東山）④桐谷勝規（松倉）△走幅跳①奥田幸男（松倉）②松井忠司（日枝）③清水紀行（日枝）△育成会立幅跳①半野田実（松倉）②河村隆一（東山）③平畑斉（日枝）④川島直年（日枝）⑤小池洋（東山）⑥津田和彦（松倉）△砲丸投①南潔孝（日枝）②坂下修三（松倉）③松井忠司（日枝）④奥田幸男（松倉）△育成会砲丸投①河村隆一（東山）②笠谷誠治（松倉）③上砂田貴弘（松倉）④小池洋（東山）⑤屋貝孝之（日枝）⑥伊藤晃成（日枝）△一般女子五十ｍ①神村引子（松倉）②泡原口美津子（松倉）③吉島俊子（日枝）△ハンドボール投①和仁笑子（松倉）②渡辺恭子（日枝）③伊藤美和子（日枝）④辻ノ上幸子（松倉）△育成会立幅跳①上砂田美恵子（松倉）②山下恵美子（松倉）△男女混合リレー①松倉校下チーム△総合順位①松倉②日枝③東山④中山

全飛少年剣道大会（関係分）

【団体】小学生②桐生剣道△中学男子②東山Ａ③中山Ａ△同女子③中山

【個人】小学三年①小林隆之介（高武館）△四年生②山下真奈（高武館）③石神喜勇（高武館）△中学一年男子②森田裕也（中山）③森野雄太（東山）・西田将典（中山）△中学二年男子①鈴木利徳（中山）②桂川謙祐（東山）△中学一年女子①山下愛弓（日枝）③椿倉みほ（中山）△中学二年女子②田中知美（中山）△中学三年女子③今井早織（松倉）

全飛中学新人柔道大会（関係分のみ）

【男子団体】①中山Ａ②東山Ａ

【男子個人】一年生①山下勝弘（東山）②宮代剛一（中山）△二年生②本林亮人（中山）③梶田晋平（中山）

【女子団体】①中山Ａ②松倉

【女子個人】一年生①白野恵（松倉）②白野円（松倉）△二年生①溝脇晶子（中山）②斉藤真理子（中山）

県高校新人バドミントン飛騨予選

△男子シングル①小井戸敦②中西輝（西高）△女子シングル①亀谷ゆかり（西高）②上野友美（高山）③八野智栄子（西高）△男子ダブルス①小井戸敦・中西輝（西高）△女子ダブルス①亀谷ゆかり・上野友美（西高）

(財)高山市体育協会寄附行為の変更について

指導監督庁である岐阜県教育委員会保健体育課の指導により次の通り変更いたしました。紙面の都合上、主な変更部分のみ掲載いたします。

(資産の管理)

第七条　この法人の資産は会長が管理し、その方法は、理事会の議決を経て定める。

(基本財産の処分の制限)

第八条　基本財産は譲渡し、交換し、担保に供し、又は運用財産に繰り入れてはならない。ただし、この法人の事業遂行上やむを得ない理由があるときは、理事会及び評議員会において、理事現在数及び評議員現在数の各々の四分の三以上の議決を経、かつ、岐阜県教育委員会（以下「県教育委員会」という）の承認を受けて、その一部に限りこれらの処分をすることができる。

(役員選任)

第二条　理事及び監事は、評議員会において選任する。

(評議員の選出)

第二七条　この法人に、評議員五八人以上六四人以内を置く。

二　評議員は、理事会で選出し、会長が任命する。

三　評議員は、役員を兼ねることはできない。

(寄付金行為の変更)

第四十条　この寄附金行為は、理事会及び評議員会において理事現在数及び評議員現在数の各々の四分の三以上の議決を経、かつ、県教育委員会の認可を受けなければ変更することができない。

(解　散)

第四一条　この法人の解散は、理事会及び評議員会において、理事現在数及び評議員現在数の各々の四分の三以上の議決を経、かつ、県教育委員会の許可を受けなければならない。

第九章　補則

(細　則)

第四四条　この寄附行為の施行についての細則は、理事会及び評議員会の議決を経て、別に定める。

要望書を高山市へ提出

各加盟団体の発展と目的達成の為、要望事項実現を願い高山市へ要望書を提出した。

一、中山公園陸上競技場の全天候型改良とフィールド部分の芝生グランド改修、並びに競技場倉庫の拡充と備品の整備について

競技運営、記録の向上及び維持管理面を考慮して、トラックの走路部分は、全天候型に、フィールド部分は芝生に。

二、中山テニスコート・全天候型オムニコートへの改修とナイター設備の設置、並びに新ソフトテニスコートの設置について

岡本テニスコートに利用者が集中し、トラブルが起きそうな状況になっている。

三、クレー射撃場の新設について

現在の飛騨猟友会の射撃場は、平成十四年で使用できなくなる。

四、大八グランド横のアーチェリー場の整備について

夜間照明施設の設置、立番屋根付ハウスの設置を。

市民健康マラソン盛大に開催

当体協主催の第二十三回市民健康マラソンを十一月二十二日に関係機関、各種団体の絶大なる御支援、御協力により、参加者千四百四十七名と盛大に開催することができました。

以下、上位入賞者です。

△小学三、四年生男子（2k）
①坂本直道②平野直人③都竹一磨④住山奨⑤小笠原卓哉
△小学三、四年生女子（2k）
①蒲春輝②白川こずえ③野崎麻奈④三野島未紀⑤中屋千佳
△小学五、六年生男子（2k）
①蒲昇太②岨ノ下淳③川尻拓也④桐谷可成⑤朝倉大樹
△小学五、六年生女子（2k）
①池之端弥生②冨本麻莉③直井さゆり④都竹桃子⑤榎坂奈緒子
△中学生男子（3k）
①岡野義和②尾崎大悟③住和④中垣高志⑤半野田卓也
△中学生女子（3k）
①牛丸明日香②冨田麻衣③橋戸絵理④平畑真紀⑤柚村麻衣
△高校生男子（5k）
①山口展②川上和也③大嶋直樹④住飛高⑤川上武士
△高校生女子（3k）
①廣野琴美②岩長由香里
△一般女子の部（2k）
①和仁笑子②上野良子③山口紀子④山田綾子
△青年男子三十才未満の部
①平岡誠②香賀友和③河合史生④館誠一⑤宇理須斉
△一般男子（三十才以上四十才未満）
①菅沼義一②横山武③内山卓也④加納糾行⑤田口洋一
△壮年男子（四十才以上五十才未満）
①玉腰進②船渡肇③井上馨④道下博人⑤無笹清
△実年男子（五十才以上）
①瀬木紀彦②加藤守道③新谷文則④岩野寛治⑤田中栄吉
△グループ対抗
①HGアスリート②ひだ高山中央市場

くまもと・未来国体（秋季大会）出場者

山岳監督　野田　政宏（高工高教）
選手　清水　洋一（高山市役所）
相撲選手　松橋　良平（飛騨養護教）
エアーライフル監督　津田　博司（高山西高教）
選手　橋戸　由梨（高山西三年）
ハンドボール選手　岡田あゆみ（高山西二年）
片山美佐子（高山西二年）
柳原　和美（高山高三年）
ソフトボール選手　松山　絵理（高山高三年）
松山　絵美（高山高三年）
今井　章代（益田高三年）
榎　百恵（益田高三年）
瓜田　桂子（益田高三年）
尾崎　智美（益田高三年）
東　祥子（益田高二年）
丸田　尚子（益田高二年）
尾崎　由佳（益田高二年）
宮部　香苗（益田高二年）
谷　祥子（益田高二年）
ソフトボール選手　横江　紗織（高山西三年）
陸上選手　山越裕美子（高山西二年）
清水　亘（松倉中三年）

第十四回市民体育大会の種目別成績（途中）

[陸　上]
①松倉②日枝③東山④中山
[柔　道]
①中山②松倉③東山④日枝
[バレーボール]
①中山②松倉③東山④日枝
[剣　道]
①松倉②中山③日枝④東山
[スキー]
①松倉②中山③東山④日枝
[弓　道]
①日枝②松倉③東山④中山
[ハンドボール]
①中山②東山③松倉④日枝
[サッカー]
①日枝②松倉③中山④東山
[バドミントン]
①中山②日枝③松倉④東山
[テニス]
①東山②日枝③松倉④中山
[ゲートボール]
①東山②中山③日枝④松倉

高山・松本スポーツ少年団　姉妹都市交流の開催

第二回の高山市、松本市姉妹都市スポーツ少年団交流大会が去る八月一日飛騨体育館で開催された。今回は松本市が来高する番で、両市の少年団員各四十名の参加で実施された。

交流会はソフトミニバレーボールのゲームとみだらし団子焼きパーティーで、松本市の子ども達に高山を印象づける内容であった。

最初は、両市の子ども達とも表情も硬かったが、バレーボールの交流の途中からは和やかな雰囲気となり団子焼きなど笑声での交流ができた。

市民スポーツフェスティバル　ソフトミニバレー交流会と講演

高山市と高山市体育協会主催の市民スポーツフェスティバルが、去る十月二日（日）に「いつでも、どこでも、誰もが気軽にスポーツに親しみスポーツを生涯の友に」をテーマに開催された。

内容は、ソフトミニバレーボール交流会と講演会であった。

ソフトミニバレーボールは飛騨体育館で四十三チームの二百五十名が参加して行なわれた。

講演会は、シンクロナイズドスイミングのバルセロナ五輪の銅メダリスト奥野史子さんを講師に「シンクロを通して見た世界」と題して行なわれた。会場の市民文化会館大ホールには、市内中学生が約七百名と体育協会員、一般市民など多数が聴講し、心に残るスポーツの一日であった。

この人に　こんにちは

今回は、高山西高校アーチェリー部３年生の橋戸由梨さんを訪ねました。

橋戸さんは、今年の東海高校総体団体、個人優勝、そしてインターハイ、国体でも個人上位入賞を果たした素晴らしい選手です。

● アーチェリーを始めたきっかけは	先輩の射っている姿がとてもかっこ良く見え、私もやってみたいと思ったからです。
● 主な戦績は	全国高校総体個人３位、くまもと国体個人２位
● 印象に残る大会は	東海総体で団体初優勝した時です。
● 部活を通じて感じた事は	全国大会に出場するにつれて自分自身大きく成長していると感じました。
● 練習時間は	約４時間毎日練習しています。
● 後輩に一言	来年は高山市で全国高校総体が開かれます。後輩達が上位入賞できる様、応援しています。頑張って下さい。
● 今後の抱負	世界大会に出場できるような選手になる事です。

筆者の所感

誰にでも明るく接し、部活においても後輩達の面倒も良くみている。練習は人一倍し、その結果が全国高校総体、国体で上位入賞を果たせたと思います。また、人間的にも大きく成長し、大学進学後もアーチェリーを続け、オリンピック等世界レベルの試合に出場することを期待している。

Fair Play

第二十三回市民健康マラソンが晩秋の穏やかな日和の中老若男女一四四〇名の参加者を得て盛大に開催された。▼この日は、国際千葉駅伝をはじめ全国各地でシティマラソンが実施されるなど正にマラソンデーであった。▼市街のメインストリートを横断する市民健康マラソンは、各所で交通規制を余儀なくされることから、警察より事前の厳しい指導と条件付きでの認可で体育協会としても万全の体勢で臨んだ。▼最も強く指導を受けた車両ストップによる渋滞状況は、各部門発送間のオフタイムが有効だったことと警察官による手際良い交通整理により極端な渋滞は避けられた。▼レースに出た千四百人に及ぶ選手と、本町筋沿道を我が子を応援する親や一般観戦者で埋まった情景は、本当に立派なシティマラソンの姿であった。▼競技者が一同に会して開催される市民体育大会が中断の今、このマラソンは市民あげてのスポーツイベントであり、協会員としてその歴史を誇りたい。